

# 事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人埼玉ハンノウ大学

事業名	埼玉ハンノウ大学リバービーチ・キャンパス事業																		
助成枠の種類	特定分野事業・ネーミング枠 (金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業)																		
1. 事業の目的	本事業は県の新規事業「SAITAMA リバーサポーターズプロジェクト (リバサポ)」の応援事業として、地域の川の保全や持続可能な環境づくり、さらに「川の国埼玉」に名に相応しい、自然景観保護の実践と啓蒙を促すことを目的としました。																		
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	<p>①市の重要な観光資源であり、市民の憩いの場でもある飯能市内の河川利用者による環境及び景観破壊が顕著になってきた。</p> <p>②地域でこれまで河原の美化活動などに貢献してきた市民団体などの高齢化問題。</p> <p>③みどりと川の再生環境保全を目指す為に必要な環境教育の実施と次世代の育成。</p>																		
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	<p>①実施までの準備 2021年7月～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトチーム立ち上げ、各協力団体へ後援依頼</li> <li>・チラシ等制作、ホームページ制作準備</li> <li>・各イベント(授業)詳細の確認作業、講師依頼</li> </ul> <p>○事業のスケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>プロジェクトチーム立ち上げ</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>プロジェクト後援等渉外開始</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>ポスター、HP等デザイン制作開始</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>広告物配布・第1回、第2回授業実施</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>第3回授業実施</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>第4回、第5回授業実施</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>リバービーチ・キャンパス研究集会</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>リバービーチ・キャンパス研究集会</td> </tr> </tbody> </table> <p>○イベント 開催実施日時・参加人数・内容</p> <p>①2021年10月16日(日) 10:00~12:00 10組20名 【川「と」あそぶ in Autumn ①</p>	時期	内容	7月	プロジェクトチーム立ち上げ	8月	プロジェクト後援等渉外開始	9月	ポスター、HP等デザイン制作開始	10月	広告物配布・第1回、第2回授業実施	11月	第3回授業実施	12月	第4回、第5回授業実施	1月	リバービーチ・キャンパス研究集会	2月	リバービーチ・キャンパス研究集会
時期	内容																		
7月	プロジェクトチーム立ち上げ																		
8月	プロジェクト後援等渉外開始																		
9月	ポスター、HP等デザイン制作開始																		
10月	広告物配布・第1回、第2回授業実施																		
11月	第3回授業実施																		
12月	第4回、第5回授業実施																		
1月	リバービーチ・キャンパス研究集会																		
2月	リバービーチ・キャンパス研究集会																		

西川材 de イカダづくりとはじめての川釣り体験！】

西川材の端材を用いてイカダづくりに挑戦。そのイカダを川に浮かべ、ダックレース遊びをした。また浅瀬で小さな子どもでも楽しめる川釣りを体験。川辺で楽しく遊びながら、飯能の林業と川の歴史について学んだ。

教室：飯能河原

先生：自然あそび企画舎・マルキュー株式会社

②2021年10月23日（日）10:00～12:00 10組20名

【川「と」あそぶ in Autumn ②

リバーウォッチング-手づくり竿 de ワイルドフィッシングに挑戦！】

入間川に生息する指標生物（カゲロウやトビケラなど）を調べながら、水質調査に挑戦した。

指標生物の多くは魚のエサなので、手づくり竿で魚を釣り、ワイルドな川遊びを体験しながら生きもののつながりを学んだ。

教室：入間川

先生：森のフィールド学舎

③2021年11月27日（日）10:00～12:00 10組20名

【きれいな川は、人の心もきれいにする

プロと一緒に年賀状フォトづくり】

紅葉のなかの川をモチーフに、プロのカメラマンを「先生」に迎え、写真教室を開催。

写真を撮るためには、いかに綺麗な景観が大切か、河原のお掃除もかねながら、参加者親子でインスタ映えの1枚をゲットした。

教室：飯能河原

先生：野村ジョセフ洋之（ハンノウ大学写真部）

④2021年12月4日（日）10:00～12:00 10組20名

【川「と」あそぶ in Winter ①

川で楽しむフィンランド式クリスマス】

河原で集めた自然素材と、西川材の端材を利用したクリスマスオーナメント作りや、焚き火を囲んで河原でフィンランド式のクリスマスを楽しんだ。冬だからこそ楽しめる、北欧のキャンプのススメも学んだ。

教室：飯能河原

先生：自然あそび企画舎

	<p>⑤2021年12月11日(日) 10:00~12:00 10組20名  【川「と」あそぶ in Winter ②  リバーウォーク-水辺の不思議世界探索!】  冬の川辺を歩きながら、水辺に生息する動植物や、川を回廊に使う野生動物のフィールドサインを観察。入間川のバイオーム(生態系)を探求し、新たな驚きや学びを発見する、水辺の不思議な世界を体験した。  教室：入間川  先生：森のフィールド学舎</p> <p>参加人数合計：50組100名(但し、同伴の幼児などは含まず)</p> <p>○広報実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B1サイズポスター30枚を西武線飯能駅管轄の周辺駅に掲示</li> <li>・B2サイズポスター30枚を飯能商店街連盟の協力により3つの商店街で掲示</li> <li>・A4サイズチラシ300枚を西武線飯能駅管轄の周辺駅に配布  その他、700枚を公民館・市役所・図書館等に配布</li> <li>・専用ホームページを公開 <a href="https://www.riverbeachcampus.com">https://www.riverbeachcampus.com</a></li> <li>・ハンノウ大学ホームページ・SNSなどで配信</li> <li>・埼玉県が運営する「エスキューブ」アプリでの広報</li> </ul> <p>上記の広報により、5回の授業イベントは毎回満席でキャンセル待ちがでるほどの人気でした。</p>
<p>4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のなかでの実施だったため、当初の予定だった7月開始が10月まで実施できない状態が続きました。会場に予定していた「飯能河原」も8月~10月上旬まで閉鎖されるなど、非常に厳しい状況下でギリギリまで開催するか否かを迷いました。</li> <li>そのような中でしたが、9月から会場を管理している市と、地元自治体、本事業に期待を寄せていた埼玉県水環境課などと協議しながら、慎重に開催へと漕ぎ着く事ができました。</li> <li>実施に至る最終決定から実施開始までが本当に短い期間(約半月程)でしたが、幸い地元を走る西武池袋線飯能駅が、本事業にご賛同くださり、周辺駅でのポスター掲示およびチラシを配布協力、全プログラムがすぐにほぼ満席になるなど、好評を博することになりました。</li> <li>埼玉県では、本事業をSDGsを主旨とした官民連携の成功事例として高く評価してくださっています。</li> <li>実施期間のイベント数は、当初の予定回数から減ることなく、忙しい</li> </ul>

	<p>スケジュールとなりましたが、無事に実施することができました。ただコロナ禍のため定員を各回10組(親子)20名までと絞ったため、参加を希望したが叶わない方々が多く出てしまいました。</p> <p>その反省を受け、また継続することにより、自然環境教育の意義も生かされるとの信念から、令和4年度も同様に実施していきたいと考えています。</p>
<p>5. 費用面での工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西武鉄道(株)様のご協力により、通常高額費用が伴うポスターの駅構内掲示が無償で実現できました。</li> <li>・入間漁業組合様のご協力により、遊漁料の免除が可能となりました。</li> <li>・マルキュー(株)様 及び公益財団法人日本釣振興会埼玉県支部様のご協力により第1回目の授業では、釣り道具一式と救命ジャケットをご提供いただき、費用コストを大幅に抑えることができました。</li> <li>・飯能市のご協力により、第2回および第5回目の救命ジャケットを借りることができました。</li> </ul>
<p>6. 地域社会への還元について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯能市内にある河川流域は、埼玉県奥武蔵自然公園として、都心からも容易に辿りつける自然美溢れた河川域として、年間を通じて多くの川遊びやキャンプを楽しむ人々で賑わっています。しかし、近年ではGW中や夏休み中は利用客のマナーの悪さ、ゴミの放置などが問題となっていました。本事業は、こうした現状の環境を変えていきたいという地域住民にとっても歓迎されるイベントとして多数の参加者が集まりました。</li> <li>・ハンノウ大学では、川の自然環境を守る上で欠かせないのは、幼少期に川に親しみ楽しむことが大切と考えました。そうした中、魚釣りを通じて年間数多くの子どもの向けイベントを開催している企業と出合い、双方の得意分野を活かした形での合同イベント開催に繋がりました。この成果は「埼玉県 SDGs 官民連携プラットフォーム」の検討部会の成果にも繋がり、それにより地元自治体の協力も得やすくなりました。</li> <li>・なにより、参加者のたくさんの笑顔が、本当に良かったです。参加者親子が、魚釣りも自然探検も、自然あそびも初めての体験だったようで、大人も子どもも夢中になって楽しみながら川と親しんで頂けたことが、地域社会への還元と感じています。</li> </ul>
<p>7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は引き続き、飯能市、西武鉄道(株)様、マルキュー(株)様 及び公益財団法人日本釣振興会埼玉県支部様など官民連携体制で、本事業を実施していく予定です。予算的には同様の補</li> </ul>

か	助金があれば今年度と同じ500円という安い参加費でおさめることが可能ですが、補助金などが見込めない場合は、参加費を多少上げてでも、継続する予定で計画中です。
---	--